学校番号	313

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「新選　高校世界史Ｂ」　（東京書籍）						
副教材等	最新世界史図説タペストリー　十九訂版（帝国書院）						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代社会に直接つながるという視点で、近世以降の歴史を見る。
・その歴史的事象がどういう経過で生まれたのかという視点を持つ。
・世界史の流れのなかでの現在の日本の在り方を考える。

２ 学習の到達目標

・諸資料や視聴覚教材に親しみ、それを基礎とした思考力を培う。
・現代の諸課題について近現代史を中心とする歴史と結び付け、さらにそれを基として将来を見通すことができる。
・世界の歴史を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解する。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	特に近現代史を中心とした時代に対する関心と高め、その基礎的な事象を意欲的に追究するとともに、現代の国際社会に関わる課題を探求する資質を養う。	現代社会の諸課題を歴史的観点から考察し、それを客観的克かつ公正に判断して、その時代を概観し、それを適切に表現している。また将来を見通す目を養う。	近現代史を中心とする世界史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	その時代を概観するための基本的な事柄やながれを知識として蓄積し、またそれを地理的にも理解し、さらに日本史と関連付けながらも理解をふかめる。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査
	〔主題学習〕 振り返りシート	〔主題学習〕 レポート 報告会での発表内容	〔主題学習〕 ポスター	〔主題学習〕 内容のまとまり
	※「主題学習」とは主題を設定して行う学習活動で、適切な時間を確保して行う。			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	ヨーロッパの拡大と大西洋世界	・主権国家の成立	○	○	○	○	a ヨーロッパの主権国家体制の成立、アジア諸国の繁栄などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 B アジアとアジア諸国を関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c 設定された時代に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 D ヨーロッパの主権国家体制の成立、アジアの諸国の繁栄について理解し、その知識を身に付けている。	ワークシート
		・ヨーロッパ人の進出 ・アメリカとアフリカの悲劇 ・大西洋の三角貿易	○ ○	○ ○	○ ○	 ○ ○	a 重商主義・啓蒙専制主義を確立したヨーロッパ諸国の海外進出に関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b 近世ヨーロッパ世界の成立と、ヨーロッパ諸国の海外進出に関する特質を見いだし、その過程や結果を適切に表現している。 c 設定された時代に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d ヨーロッパ人の海外進出について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

2学期	産業社会と国民国家の形成 ～ 世界市場の形成とアジア諸国	・産業革命 ・アメリカ合衆国の独立 ・フランス革命とナポレオン ・ウィーン体制と1848年革命 ・国民国家の建設と国際関係の推移 ・ヨーロッパ諸国のアジア進出 ・アジアの変動	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○	a 19世紀の社会の変化と新たな社会の成立、ヨーロッパ諸国の進出によるアジア・アフリカ・ラテンアメリカの変貌に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b 18世紀後期以降の世界の変貌の特質を見いだし、その後の世界の一体化と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c 設定された時代の諸地域世界の変貌に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d 18世紀後期以降の諸地域世界の変貌についての基本的な事柄をその後の世界の一体化と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
	世界の分割 ～ 二つの世界大戦	・世界を支配する国々 ・アジアの民族主義 ・世界の一体化 ・第一次世界大戦 ・ヴェルサイユ体制とワシントン体制 ・アジアの独立運動と革命 ・アメリカ合衆国の繁栄 ・第二次世界大戦	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○	a 二つの世界大戦の原因や影響と平和の意義、民族運動などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b 帝国主義的な風潮の高まりによって起こった、社会の急激な変化の具体的な様相や、二つの世界大戦の原因や影響と平和の意義について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 C 二つの世界大戦の原因や総力戦としての性格、両大戦の影響と平和の意義などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d この時代の基本的な事柄や、二つの世界大戦の原因や総力戦としての性格についての基本的な事柄を、両大戦の影響と平和の意義などと関連付けて理解し、	定期考査 ワークシート

							その知識を身に付けている。	
3学期	戦後世界の形成と変容	・冷戦の展開と第三世界 ・平和共存と多極化 ・アメリカ経済の動揺と国際秩序の変容 ・冷戦の終結とその後の世界 ・21世紀を生きる私たち	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ 	 ○ ○ 	a 第二次世界大戦後の世界について、その影響が現在まで続く課題に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている b 戦後世界の歴史的な流れを、現代の政治・経済の動向と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c 第二次世界大戦後の諸地域世界の問題などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d 第二次世界大戦後の冷戦・アジア・アフリカ諸国の独立などについての基本的な事柄を、世界の政治・経済の動向と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

	21世紀の課題	〔主題学習〕 ・課題の設定 ・調査方法 ・資料収集 ・成果報告	○	○	○	○	a 現代社会の諸課題を、近現代史を振り返りつつ、意欲的に追究しようとしている。 B 現代社会の諸課題を、歴史と結び付け歴史的観点から考察し適切に表現している。 C 現代の諸課題を、近現代史を中心とする歴史と結び付け歴史的観点に基づく必要な情報を収集し図表にまとめたりしている。 D 現代の諸課題に関する知識を身に付けている。	レポート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。